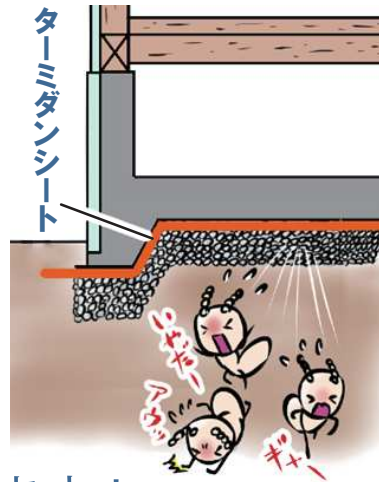


防蟻・防湿シート工法のおすすめ

ターミダンシート工法

基礎コンクリート下部に防蟻・防湿シートを全面に敷き詰める工法です。有効成分は WHO が認定した、人や動物にもっとも安全で刺激が少なく、環境にやさしい、そしてシロアリには高い効果のある薬剤です。

- ①薬剤散布のように土壌を汚染しないので、環境に優しい
- ②湿気を完全にシャットアウト。床下のじめじめを防ぎます。
- ③忌避性が高いので、シロアリが近寄れません。
- ④優れた防蟻効果（速効性・残効性・耐候性）があります。
- ⑤土中の『かび・菌・バクテリア』による生物分解がされにくい。
- ⑥太陽にあたらないので、紫外線による成分分解がない。
- ⑧土中は安定した温度環境なので、熱による揮発・蒸散がない
- ⑦水に溶けにくい成分なので、加水分解されにくい。



ターミダンシートは防蟻効果が長期間持続します！

★シロアリ保険付 1000万円 10年保証★



5年ごとに再施工（再保証）が必要な薬剤散布より防蟻対策にかかるコストが**大幅に削減**できます！

保険適用については『人と環境にやさしい木部処理剤』の施工が必要になる場合があります。

- 天然ピレトリン MC ⇒天然素材の防虫菊から抽出した防腐・防蟻材
- ペネザーブ ⇒分解・揮発しないホウ酸系の防腐・防蟻材



シート施工

住宅の建設地の下に施工します。忌避性があるので、地上へ上がってくるシロアリをシャットアウトします。また、地中の湿気も防ぐことが出来るので、床下の湿気対策にも活躍します！



オプティフォーム

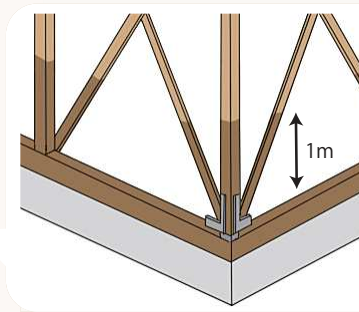


シロアリの侵入経路である住宅の小さな隙間を埋めてくれます。また、気密性・断熱性にも優れ、住宅の性能を低下させることもありません。

シロアリが侵入しがちな配管穴やコンクリートの亀裂に吹き付けます。

木部処理

建物外周部を基礎の端から1m以内の部分にある土台・柱・間柱・筋かいなどの部材に塗布します。

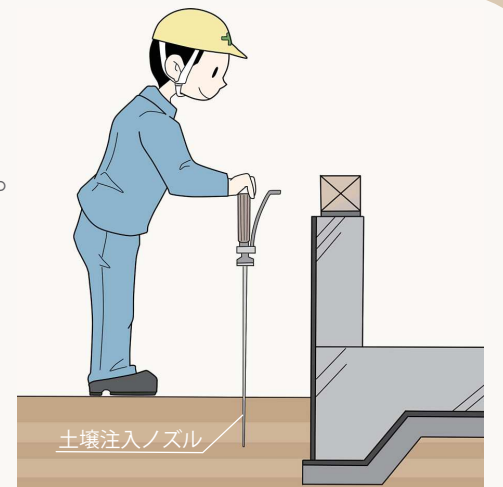


仮にシロアリが地中から建物へ上ってきたとしてもこれを施工していれば被害を受ける可能性はさらに低くなります。

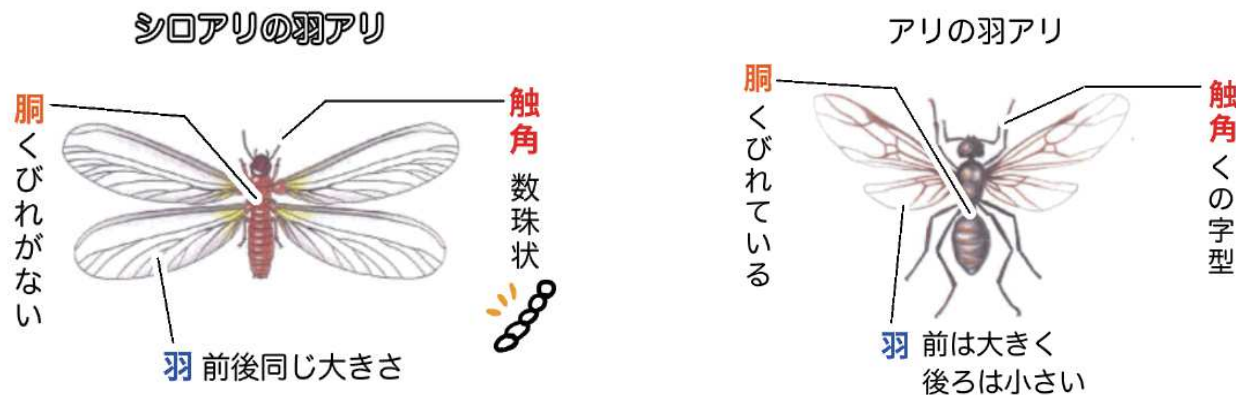
土壌注入法 ※10年後の再施工

建物の外周部の土中に防蟻材を注入します。土中から建物に近づこうとするシロアリをシャットアウトします。

注入する防蟻材も、人や環境に優しい木部処理剤を使用します。



シロアリはアリじゃない!?



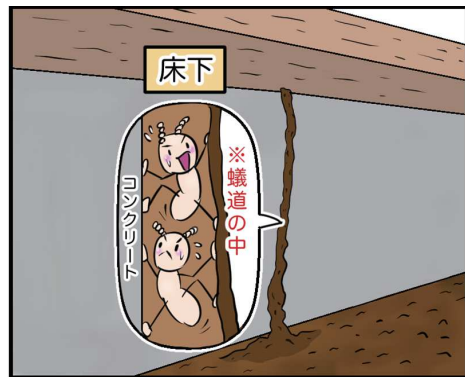
実はゴキブリの仲間です 

シロアリが好む場所は…?



木造住宅の床下は①②③の条件はそろってます。対策可能なのは④…!

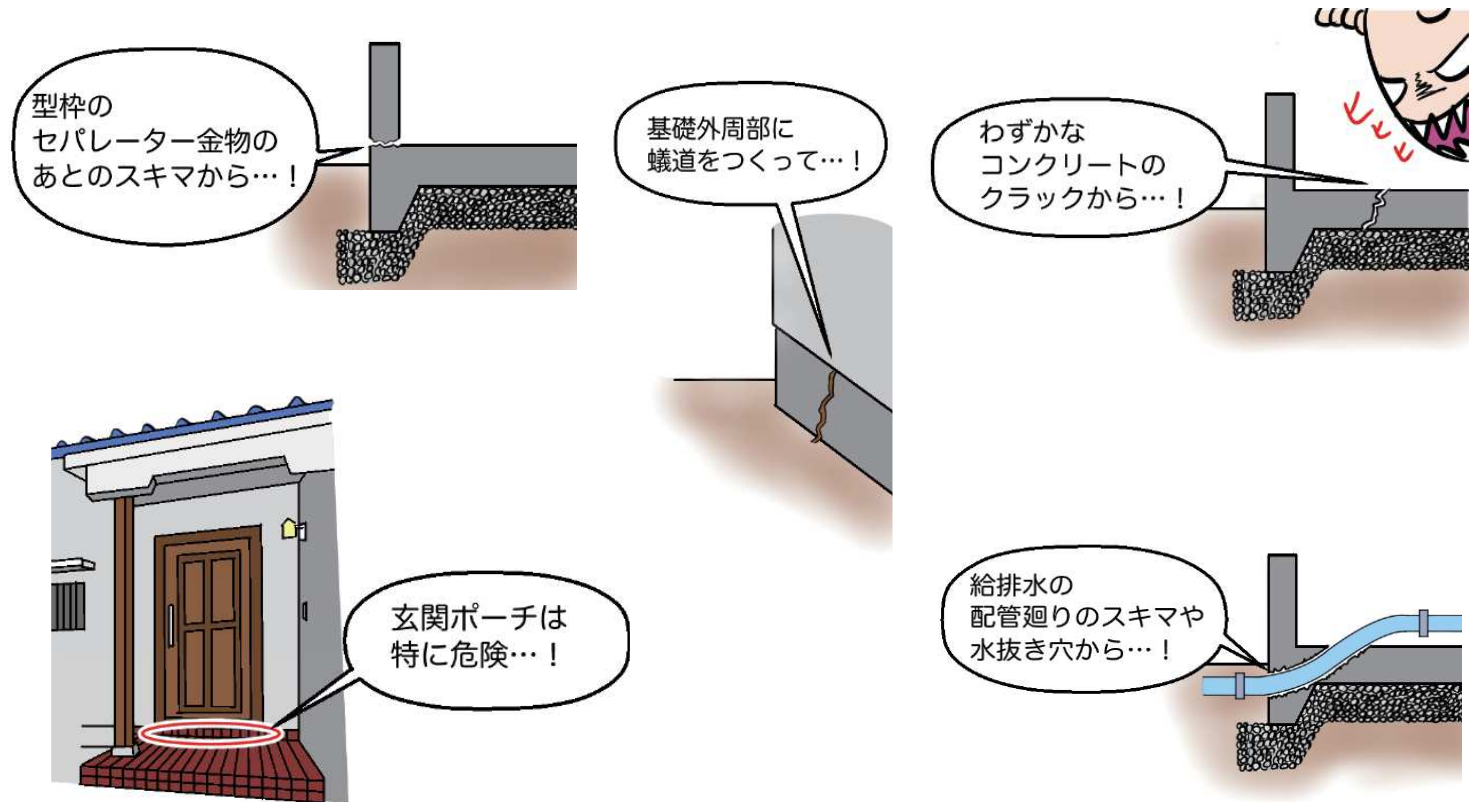
シロアリは地中からやってきます!



基礎部分にシロアリの通り道(蟻道)をつくり、そこから餌である住宅の木材を目指して侵入してきます。

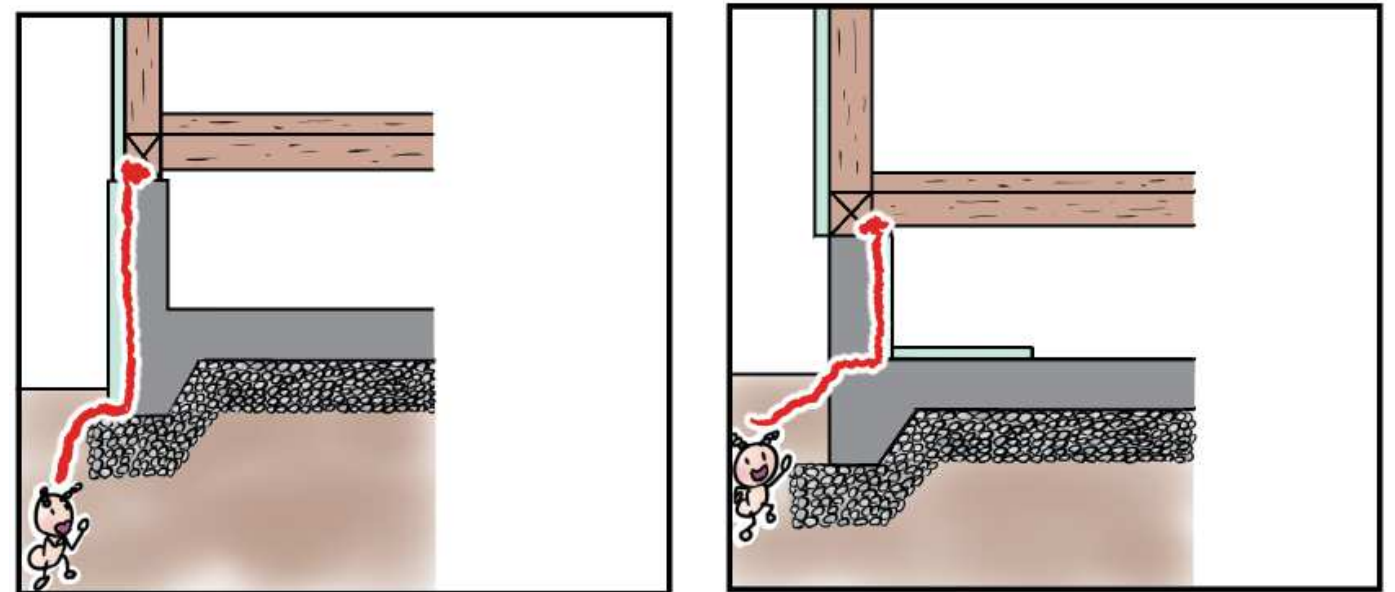
※まれに、外周の基礎の巾木(はばき)に蟻道をつくることも

シロアリはどこから侵入してくる?



木材が雨漏りや結露により湿っており腐朽菌が繁殖している場合はシロアリはそれを感知して無理してでも進入してきます。

基礎断熱の場合、シロアリ侵入の発見が遅れ気づいた時には被害が進行していることも



特に基礎外断熱は発見しにくいので要注意!